別表第十一（第十一号関係）

データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
016	00128	市区町村コード	住登外者情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
016	00129	宛名番号	住登外者情報	○	○	X	15			必須	自治体内において、個人を一意に識別する番号 住登外者情報においては「住登外宛名番号」を管理する。		◎
016	00130	履歴番号	住登外者情報	○		9	3			必須	宛名番号ごとに異動の履歴情報を管理する番号	古いものから昇順でカウントアップ	◎
016	00385	最新フラグ	住登外者情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
016	00131	管内管外の区分	住登外者情報			X	1	005		必須	管内か管外かを判断する区分		◎
016	00132	世帯番号	住登外者情報		○	X	15			任意	個人の属する世帯を一意に識別する番号		◎
016	00133	行政区（地区管理）	住登外者情報			X	12	999		任意	一般市における行政区（地区管理）	各自治体固有のコード利用を想定	◎
016	00134	住民区分	住登外者情報			X	1	010		必須	住民、住登外者、法人を判断するための区分	住登外者情報は「住登外者」のみが設定される	◎
016	00135	住民種別	住登外者情報			X	1	011		任意	住登外者の種別を示すコード		◎
016	00136	住民状態	住登外者情報			X	1	012		必須	住登外者の状態を示すコード		◎
016	00137	個人番号	住登外者情報			X	12			任意	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）に基づき、行政手続における特定の個人を識別するために各市区町村から住民に指定される番号		◎
016	00138	異動年月日	住登外者情報			DATE	10			必須	異動が生じた年月日		◎
016	00139	異動届出年月日	住登外者情報			DATE	10			任意	異動による届出を受領した年月日	異動事由が届出によるものの場合は、出力すること	◎
016	00140	異動事由	住登外者情報			X	2	009		必須	異動事由を示すコード		◎
016	00141	氏名	住登外者情報			N	100			任意	住登外者の個人の氏名	・日本人住登外者の場合は、氏と名の間に全角の空白を一文字入れる ・漢字氏名がある外国人住登外者の場合は、ローマ字氏名＋漢字氏名の形で記載し、間に全角の空白を一文字入れる ・外国人住登外者の場合は、氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文字入れる ・氏名未定でない場合は出力すること	◎
016	00142	氏_日本人	住登外者情報			N	50			任意	日本人住登外者の個人の氏	日本人住登外者の場合は出力すること	◎
016	00143	名_日本人	住登外者情報			N	50			任意	日本人住登外者の個人の名	日本人住登外者の場合かつ名未定ではない場合は、出力すること	◎
016	00144	氏名_外国人ローマ字	住登外者情報			N	100			任意	外国人住登外者の個人の氏名（ローマ字）	・氏名を構成する要素（氏と名、名（ファーストネーム）と中間名（ミドルネーム）と氏（ラストネーム）など）の間に全角の空白を一文字入れる ・ローマ字表記での氏名を有する外国人は出力すること	◎